

平成25年度第1回松山地域協議会会議録

日 時 平成25年4月24日(水) 午前9時00分～11時23分
場 所 松嶺コミュニティセンター講堂
出席委員 14名
1号委員 小野 與一、志田 節子、富樫 茂、難波 きみ子
後藤 吉史、齋藤 壽子、池田 重悦、佐藤 玲子
門脇 秀行、遠藤 俊三、村山 安子、佐藤 正信
2号委員 白旗 泉
3号委員 日野 健吾
欠席委員 1名
1号委員 富樫 一行

酒田市出席者 酒田市長 本間 正巳、松山総合支所長 池田 成男
地域振興課長 秋葉 弘毅、建設産業課長 大淵 洋
市民福祉課長補佐 佐藤 敏行
地域振興課長補佐 佐藤 均
地域振興課主査 石川 亮一
地域振興課調整主任 石川 春市

傍聴者 1名

【議事日程】

委嘱状交付

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 委員・職員紹介
- 4 地域協議会について
- 5 議 事
 - (1) 会長・副会長の互選について
 - (2) 平成24年度地域協議会市長報告について
 - (3) 平成25年度支所管内の主な事業について
 - (4) そ の 他
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

開会に先立ち酒田市長より、委員に委嘱状の交付を行う。

1 開 会

2 市長あいさつ

酒田市長 皆様おはようございます。今日はお忙しい中、地域協議会にご出席頂きました。新たに委員になられた方もおられますし、引き続き委員になられた方もおられると思いますが、二年間宜しく願いを申し上げたいと思います。この松山地域は、歴史と文化に培われた町でありまして、一市三町が合併しておりますけども、その中でも特異な光を放つ地域だと思っています。そういった中で、2010年の人口が酒田の場合は11万1,151人でしたけれども、2040年には7万1,170人になるということで36%減るという統計、いわゆる人口統計の結果が出ています。そういう中で、皆さんと一緒に頑張って新しい酒田をつくろうとしたときにこうした人口問題というのがかなり影響が出てくると思います。ですから地域が光を放つような魅力溢れたものにならないとなかなか人というのは定着しない、このように思っています。統計は統計としてそれをどうやったら回復できるのか、それを改めて考えていきたいと思っています。今日の資料を見ますと、松山でやる事業を載せて頂いておりますけれども、例えば歴史文化公園とかそうしたものもきちんと私としては仕上げていきたいと思っていますし、皆さんからもいろんなご意見を頂きながらこの町をよくしていきたい。伝統のある武者行列もあり、それから、能も夏と冬とに二回にわたって、それも全国から人がおいでになるような伝統のある祭りもあります。そうしたことに誇りを持ちながらこの地域をみんなで良くしていきたいと思いますので、ぜひそうしたことに皆さんのお知恵を拝借したいと思っていますので、ぜひお力添えを賜りますことをお願い申し上げまして、簡単ですけども挨拶とさせていただきます。次の会場へ行くのでこのままということになりますけれども、若干の時間とりますので説明は聞けませんけれども、何かありましたらどうぞ言って頂ければと思います。今日は宜しくお願いします。どうも有難うございます。

3 委員紹介

秋葉課長 9番の富樫一行委員は今回欠席されておりますのでご紹介だけさせていただきます。他、省略。

職員自己紹介省略。

4 地域協議会について

秋葉課長 地域協議会につきましては合併後の旧三町の地域ごとに設けられました。設置条例第1条に規定される目的としましては、地域住民の意見を行政に

反映させること、それから地域住民と行政との連携を繋ぐことでコミュニティ組織の育成、強化を図るために設置された協議会であります。2万円の委員の報酬が9月と3月の二回に分けて支払われることになっております。会議そのものは年間4回から5回程度を予定しております。そして年度末には会長及び副会長が市長へ協議会の活動報告を行っております。会議につきましては全て公開することとなっております。また、会議録を調整しまして市のホームページ、松山総合支所地域振興課地域振興係というページに地域協議会というコンテンツがありまして、そこでも公開されております。地域協議会での協議をお願いしていく案件としましては、基本的に地域づくり予算に関するものが定期的な案件であります。平成23年度につきましては地域ビジョンの策定という大きな計画をまとめて頂いたところであります。また、昨年度以来、中学校の統合を主とする学区改編についても大きな案件となっております。今年度につきましては、旧三町地域の全世帯を対象としまして、合併の再評価というアンケート調査を実施することになりました。5月中に調査を行いまして7月頃の第2回協議会で集約を図りたいと考えております。合併によりまして、利便性が高まった部分や逆に低下した部分等を様々な調査や住民の皆さんとの対話を通しまして、現状や課題を再評価していこうとするものです。その上で明らかになった課題がでてきた場合は、必要な施策や予算措置の仕組みなどを検討していこうとするものであります。以上のような説明を申し上げまして、地域協議会委員として今年度から二か年どうぞ宜しくお願い申し上げます。

5 議 事

(1) 会長及び副会長の互選について

秋葉課長 続きまして議事に入りたいと思いますが、設置条例第6条第2項の規定によりまして、会議の議長につきましては、会長と定められておりますけれども、会長が決定されるまでは事務局で進行させていただきます。議事の一番です。「会長及び副会長の互選について」を議題とさせていただきます。条例第5条の規定では会長及び副会長は委員の互選で定めるとあります。皆さんのご意見を頂きたいと思っております。

池田委員 事務局の原案はありますか。

秋葉課長 事務局の原案というご意見頂きました。私の方で提案をさせて頂いて宜しいでしょうか。それでは恒例でありますけれども、これまでも選考委員会を開催しまして、会長それから副会長の選考をして、皆さんの承認を頂くということで進めさせてきました。今回につきましても、選考委員をもちまして協議を行って、会長それから副会長を決めて頂きたいというふうに

考えていますので宜しくお願いします。選考委員は南部コミ振から小野與一委員、山寺コミ振から富樫茂委員、松嶺コミ振の後藤吉史委員、内郷コミ振の池田重悦委員、そして識見委員として白旗泉委員をお願いしたいと思います。事務局として支所長が入りますので、場所を別室相談室に設けましたので、選考委員会を開催して頂きたいと思いますので宜しくお願いします。その間休憩をさせていただきます。宜しくお願いします。

秋葉課長 会議を再開します。事務局の支所長からご報告を申し上げます。
池田支所長 それでは私の方からただいま皆様の代表の選考委員から選考をして頂きました結果を報告いたします。皆さんから慎重な審議をして頂きました。その結果ですが、会長には自治会連合会の会長さんであります、門脇さんをお願いしたいと思います。地域の自治会をまとめていらっしゃる自治会連合会の会長さんが宜しいのではないかと、適任ではないかというご意見でまとまりまして、ぜひ門脇さんをお願いしたいということでした。それから副会長には内郷コミュニティ振興会の池田重悦さんをお願いしたいということで、皆さん全員一致で決まりました。以上、報告させていただきます。宜しくお願い致します。

秋葉課長 それでは会長、副会長はそれぞれ前の席に行って頂きたいと思います。それぞれご挨拶をお願いします。

門脇会長 只今選考委員の皆様から集まって頂いて会長職を任命された門脇でございます。なにしろ自治会連合会の会長もこういう形で強引に決めさせられたような感じで、今年はなんだかんだと台風の目みたいなものが私の方にぶつかってきているような感じがします。この地域協議会について、会長席に着かせて頂いたわけですが、二期目という方がここの中には大勢おられます。それなので、色々と松山地区の協議についても推薦等についても色々と継続課題とかあると思いますけども、そういうことを踏まえて皆さんと一緒に考えて進めていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。

池田副会長 池田重悦です。私の意見が通りませんが逆に推薦されました。一生懸命頑張りたいと思っておりますので宜しくお願いします。

秋葉課長 これよりは会長から議長をお願いしたいと思いますが、その前に本日の会議録署名人につきましては、地域協議会設置条例施行規則の第5条に基づきまして、今回は村山安子委員をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。それでは村山委員に署名をお願いしたいと思っております。それでは進行については、会長の方から宜しくお願いします。

(2) 平成24年度地域協議会市長報告について

門脇会長 市長報告に入っていきます。宜しくお願いします。

秋葉課長 それでは25年度地域協議会の市長報告につきましては私の方から申し上げます。資料1をご覧頂きたいと思います。さる3月27日に3地域協議会の正副会長が市長にそれぞれの活動協議について報告を行ったものがあります。松山地域協議会では一点目は松山中学校学区改編について、二点目が松山歴史公園等について、三点目が3地域合同研修会について、そして四点目としまして小学校の適正規模についてという以上の四項目につきまして、議題として協議を行ってきましたことを報告したものであります。このような形で市長に報告を行いました。以上、報告として申し上げます。宜しくお願いします。

門脇会長 この開催状況報告等について何か事務局の方に質問等ありましたらお願いします。ありませんか。なければ次の(3)平成25年度支所管内の主な事業について、事務局の方から報告お願い致します。

(3) 平成25年度支所管内の主な事業について

池田支所長 平成25年度の酒田市一般会計の概要についてご説明をしていきます。支所管内の主な事業のご説明に入る前に、酒田市の25年度一般会計予算の概要について簡単にご説明申し上げます。まず資料を見て頂きたいのですが(資料2参照)、一般会計の当初予算と致しましては過去最大となる総額506億3千万ということでした。506億3千万というのは、対前年度比で申しますと、20億3千万、率で4.2%増という状況です。この中で投資的経費が72億9,711万ということで、これが大幅な増加となっております。それから予算編成にあたりまして市長の施政方針が示されております。この中では、人口減少、少子高齢化対策というところが酒田市の最重要課題として位置づけましたという報告がなされています。また、酒田市総合計画においては、平成29年度の人口を11万と目標を設定しております。この目標を達成するためにも、雇用の場の確保、それから産業振興が根幹となってくるというそういう認識のもとに企業誘致が勿論ですが、地元企業の皆さんが力をつけて頂くということで、一人でも多くの雇用を生み出すというような環境整備を進めていきたいと思いますという考え方になっております。それだけでなく農業の分野であったり、あるいは観光面にも影響がありますが観光面では、交流人口を増加させて、人的交流の必要性を念頭において、交流促進の要となる高速交通網の整備を図っていきたいという考え方になっております。そうした中で、この大きな大分類、重点項目ということで5項目を掲げております。その一番目の大部分と致しまして、山形新幹線を庄内まで伸ばしたいということで、それについては高速交通の整備のために、このような意見交換等促進の進展を図っていく

ことになっております。それから旧ジャスコ跡地の再開発の支援、それから駅前広場整備の検討をすすめるということになっております。それから、大きい二番の（１）ですが地元企業の支援と企業誘致ということでございますけども、これにつきましては、大規模な雇用が見込まれる企業の進出の支援策ということになります。具体的にはプレステージインターナショナルという企業が酒田に進出して頂くことになりました。大きな雇用の場を生み出してくれることになりましたので、この企業が立地を決めた工業団地を購入して貸出をしましょう、こういう予定となっております。今現在は、会社ができるまで中町の今教育委員会が入っている建物になりますけども、情報プラザの中の一階で現在営業を始めております。これから今年の秋あたりに工業団地のほうに会社が移っていく予定となっております。それから大きい二番の（３）になりますが八幡、松山、平田３地域と離島振興とございますが、この中で私たち松山地区につきましては松山歴史公園の整備の他にコミュニティビジネスや地域資源の活用の研究会に対する支援を継続していきましょう、という予算が含まれております。それから、大きい３の（１）になりますが、安心して子どもを産み育てる環境の充実ということで、子どもの通院分の医療費になりますが、小学校３年生まで無料にしましょうという政策が入っております。もう一つ、学童保育なのですが、学童保育の利用条件につきまして、低所得の世帯に対する助成を行いたいということも含まれております。それから大きい３の（２）になりますが、次の時代を担う人材の育成と国内外の交流の拡大とございますけれども、引き続き学校施設の学校関係につきましてはスクールカウンセラー、教育相談員、家庭訪問相談員、それから学習支援員を今年で、酒田市全体で45人だったでしょうか、松山も含んで市全体ですけれども、学習支援員を45人をお願いしています。様々な場面でサポートして頂きましょうということになっております。子どもたちの学校生活をサポートしていきましょうということになっております。また、もう一つなのですが、英語で発信できる子どもを育成しましょうという事業が入っております。タイトルとして英語で遊ぼうということで教室を開いていこうということで、市内三カ所で実施することになっております。この三カ所は公益大、中町に交流広場というものがあります。そこと私たちが一番近いのは平田タウンセンターになります。平田タウンセンターの三カ所で実施することに、4月16日の広報で既にお知らせなっていると思います。それから大きい４番の（１）になりますが、地域における防災、減災ということで避難誘導板の設置、万が一に備えてになると思うのですが、生活必需品を備蓄していきましょうということですのでそういう予算も計上してお

ります。それから4の(2)になりますが、新市庁舎の整備ということで新市庁舎の整備事業が、平成28年の完成を目指してこれから動いていくということになります。それから4の(5)になりますが、生活基盤の整備の関係では、市道の改良事業、橋梁の安全性の確保、延命化を図ろうということで浜田橋、旧商業前の新井田橋の延命化対策を図っていきます。もう一つ、ここの中に入っておりますが、市内の数カ所で大雨が降りますと浸水する地域がございます。私たちの上堰の方も集中豪雨になり、溢れるということも聞いておりますが、こちらにつきましても雨水排水を分散させましょうということで、排水の整備をしていきたいと思いますという予算も含まれております。市街地の方では、浜田小学校の北側の部分で浸水するという部分と、それから琢成小学校でも大雨による浸水ということもありますので、そちらの方も検討していきましょう、これは別の予算になりますので検討されている段階で実施しましょうということで決まっているのが私たち松山地区の排水改善ということで報告させていただきます。次に私たちの松山地域における事業計画につきましては、それぞれ報告いたします。

(資料3) 平成25年度松山地域における事業計画等について

秋葉課長 続きまして横長の資料3をご覧くださいと思います。松山地域における事業計画ということで申し上げたいと思います。最初に総務関係で申しあげますと、①松山総合支所庁舎等維持管理事業につきましては庁舎それから事務機器及び公用車15台等の車検修理費燃料代すべてになります。②広報紙配布委託料につきましては各自治会への広報紙配布委託料でありまして、年間一世帯あたり590円の単価で委託されるものでございます。市民生活関係にいきたいと思います。②松山平田スキー場指定管理委託であります。今年度25年度から三年間の期間で松山スキー場を酒田まちづくり開発株式会社に委託するものであります。同じように商工・観光部門をご覧くださいと思いますが、この商工・観光部門の②眺海の森観光施設指定管理委託も同じく酒田まちづくり開発に委託されまして、さんさん、それから展望休憩所ビアン、外山ロッジを委託するものです。これに加えまして更に、教育の⑥天体観測館指定管理委託、天体観測館コスモドーム、この施設につきましても同じく酒田まちづくり開発に三年間にわたり委託されるというものであります。戻ります。③体育施設管理委託につきましては、松山管内における体育施設であります松山体育館、里仁館の体育館、松山運動公園、多目的運動公園、外山キャンプ場、さらには河川運動公園の使用申し込み受付を、生涯学習施設「里仁館」に委託しているものでございます。それから、④松山体育協会補助金から⑨自治会連合会補

助金につきましては、各団体への補助金となります。⑥コミュニティ振興会委託料につきましては、調整交付金にかわる支援強化額が導入されたこと、さらにはインターネット接続加算、社会保険を増額する制度が変更されております。それから⑨自治会組織等運営費補助金につきましては、新制度となりまして均等割額が増額され、世帯割額が統一の190円となったところが大きな変更でございます。それから消防の欄にお移り頂きたいと思います。消防関係で申し上げますと、先ほど支所長も申し上げましたが、耐震性の貯水槽建設、例年これまでは毎年1基の更新をしておりましたが、今年度は3基更新することになっております。それから③指定避難所備蓄品、指定避難場所であります各小中学校に食糧等を備蓄するものでありまして、ただ市全体の予算が430万円でありますので、膨大な備蓄とはならないかもしれませんが、緊急時の際の備品を備蓄するものであります。各小中学校に備蓄ということになっておりますが、松山地域のように各小学校に防災資機材庫が隣接されているところについては、これから危機管理施設、教育施設どちらがいいのかという協議をしていきたいと考えております。次に教育関係について申し上げます。③松山歴史公園整備事業にいきます。歴史公園の整備事業につきましては24年度で用地取得を全て終了しました。今年度から、具体的な工事がスタートします。25年度につきましては、小華和邸の跡地に伝習機能施設を整備すること、それから旧朝日園も解体します。それと建物周辺の外構等も行うという予定であります。25年から26年度の二カ年にわたって事業を進めたいとするものです。新しい施設等のオープンにつきましては、27年の1月頃が直近で開館できるのかなというふうに、所管課からは伺っております。⑤文化伝承館改修事業については本館の冷暖房設備修繕を行うというものであります。それから⑦から⑨の補助金につきましては、各団体の補助金で金額の変更はございません。⑩松山小学校改修事業であります。松山小学校改修事業につきましては、耐震診断の結果に基づきまして、校舎と体育館の耐震補強老朽改修を行うための地盤調査を委託、それから実施設計の委託を行うというものでございます。最後に地域づくり事業について申し上げます。25年度事業につきましては、前年度と比較しまして249万円の減となったところでありまして、この主なものにつきましては、花いっぱい事業につきまして55万9千円、それから青少年国内外交流事業の186万1千円の減が主なものであります。花いっぱいにつきましては、全市で、最近では苗を供給するというのではなくて、種子から花いっばいにしようという全市的な流れと、植栽箇所の見直し等々を行った結果、若干の事業費減、それから青少年国内外交流事業につきましては、25年度は、アメリカのライト

ハウスチャートスクールの生徒 9 名、引率者 4 名を受け入れるという事業となりますため、減額となっているものです。以上、地域振興課関係について申し上げます。宜しくお願いします。

大 淵 課 長 この分類の建設の部分からいきます。①市道白糸線暗渠管改修事業ということで、近年のゲリラ豪雨で柏谷沢からそして成興野までの道に途中で暗渠がありまして、それが雨水で引っ張られて谷の方にはみ出ているという状況になっています。

以下詳細省略。

池田支所長 皆様もうご存知かと思いますが、25 年度の松山地域の変更点を三点ほどお話したいと思います。まず一つ目は診療所につきまして、石田先生が退職されましたので、25 年度からは八幡病院から先生を派遣して頂いております。月水金の週 3 回の三日間になります。また、地見興屋の診療所につきましては、水曜日の午後の診療として継続しております。健康課の方におきましては、引き続き先生を探しているという状況でございます。ご理解をお願い致します。それから二つ目ですが、寿賀事業でございます。これまで喜寿の際に金杯と賀詞を差し上げておりましたけれども、25 年度から米寿だけに変更ということになりました。長寿社会を迎えて仕組みづくりの変更ということになったようです。ご理解お願い申し上げます。平均年齢、こちらに出てくる前に改めて見てみたのですが、女性で 86 歳を越えている、それから男性でも 79 点数歳まず 80 歳という長寿社会を迎えると思います。そうした中での仕組みづくりを取り組んでいくということでございます。それから三つ目でございますが、これは県の事業となりますけれども、緊急ヘリの導入ということで、4 月から緊急事態が発生した場合ですけれども、ヘリコプターを使って緊急輸送をしようということでございますけれども、万が一緊急事態が発生した場合、救急車でヘリコプターが降りる場所まで運ぶということで事業を行おうと、酒田地区におきましては、搬送先は日本海病院になります。万が一、日本海病院で間に合う場合はヘリコプターになるのか、道路網も整備されてきておりますので、そのまま救急車でという場合も有り得ると思いますが、場合によっては大きな病院へということになればヘリコプターでお願いするという事態も想定されると思います。そのヘリコプターと救急車を繋ぐ場所ですけれども、松山地区におきましては三つの小学校、それから中学校、河川敷それから眺海の森ということで設定されております。三点ほどご報告させていただきます。以上でございます。

門 協 会 長 質疑等はございませんか。

後 藤 委 員 先ほど話ありました中で、上堰改修について、具体的な内容は理解できな

かったものですから、教えて頂ければ有難いと思います。どこの場所をどうするのかというところが分かりにくかったです。それから、もう一つだけお聞きしますけれども、耐震性貯水槽建設3基予定するというわけですが、それぞれの自治会に対する説明というのは終わっているのでしょうか。私も今年度から代わったものですからご説明頂ければ有難いです。

大 淵 課 長 詳細省略

後 藤 委 員 片町ゲートのところから、国営幹線は絞りで押しているのか。管で排水するという形で、雨が降って片町が溢れるのは水量調整をゲートから排水して減らすという考え方の工事をすると理解して宜しいのでしょうか。

秋 葉 課 長 消防の貯水槽のことです。まだ自治会の方には、工期等が決まっていますのでお話しはしていません。当然、工事の入る際は、消防団、それから自治会の皆様にもきちんとご説明申し上げますので、宜しくお願ひしたいと思ひます。尚、入札が三カ所や五カ所一気にやるものですから、工期が大変長くなるという苦情がありまして、その辺は消防の警防課の方にもお伝えしてあります。その間に災害にあわないように配慮して、その辺につきましても地元消防団、自治会の皆様にも説明させて頂きますので、宜しくお願ひします。

小 野 委 員 事業計画について、1点目は市民生活関係のコミュニティ振興会の支援強化により、24年度並みの予算を頂き有難うございました。感謝申し上げます。人口減少の中で、地域をまとめていくコミュニティ振興会の役割は大きいと思うからです。

2点目は、喜寿の金杯等を廃止することに異議はございませんが、77歳は一つの節目でもありますから、費用をかけないでお祝いはできないでしょうか。

市長の施政方針を拝見させていただきましたが、住民としても応援していきたいと思ひます。特に重点項目の庄内延伸の新幹線については、地理的な要因から鶴岡地区と分散していることが課題と思われまひます。また、プレステージインターナショナル等のコールセンターが、なぜ山形に来るのか、他県の勤務実態では、3か月くらいでやめる人が多いと聞きます。その点本県は、辞める人が少ない傾向と分析されています。将来の労働力の関係から見ると、地元産業の雇用拡大も位置付けて対応する必要があると思ひます。また、賑わいと活力の関係では、昨年の産業フェアは、産業課が中心にやっけていただき、素晴らしい事業になりましたので継続していただきたいと思ひます。

3点目は、市民の元気あふれる町づくりについては、その通りと思ひますが、統計では、2040年の酒田市の人口は、36%減少、一番多いのが大蔵

村の48%で半分になるということです。酒田市でも市街地と比べた場合、松山地区は更に減少率が高くなると思います。このような状況に対してどう対応していくのか。高齢化社会の中で、お年寄りが住みやすい地域というのは、子供にも若者にも優しい地域といわれますので、今から対策をお願いします。また、育児を抱える女性は、子供が風邪をひいて熱があれば、働きに出ることができなくなります。地域、企業含めて体制を考えていく必要があります。子供を産み育てやすい環境づくりを推進することが課題だと思います。また、我々が地域で実践している例として、南部地区に地見っ子ふれあい協議会があり、児童数は少ないですけど親と子の関係は縦の関係、友達同士は横の関係、斜めの関係を地域の力として進めていますので、実践しやすいような環境づくりをお願いします。

防災関係については、酒田市民の防災ガイドブックを作製したから安心ではなくて、これから、地域にいかにか落とし込みをしていくかが課題です。酒田市からは、最低限の生活物資等の確保をお願いします、地域としては避難訓練等を実践することが対策になると思います。南部地区でも、2年前から取り組み、やっと防災組織が稼働するようになりました。この間、山形県の防災施設の見学や亘理町での現地視察、阪神淡路の震災後、組織を立ち上げ実践している広野地区を研修しました。このことを教訓にして、昨年、当地域においても、役員を中心に通報訓練等を実施しましたが、住民数の把握など課題もありましたので、今年度は、南部地区全住民を対象に訓練する予定です。酒田市の防災ガイドブックに基づいて住民に浸透させることが対策になると思います。

また、空き家もかなり多くなっています。これも一つの社会現象ですが、更に人口減少で大きな問題になると思います。所有者の管理責任が、一番問題なのですが、いろいろな方策も考えられると思いますので対策願います。また、酒田市が進めている再生可能エネルギーの取り組みについては、環境アセスメントの問題もありますが推進して頂きたいと思います。

秋葉課長 コミュニティ振興会と補助金、それから支援強化関係につきましてはこれで全て解決したと思っておりませんので、ある程度は地元の要望も聞き入れて頂いたのかと思いますので、これからは事業費の関係で要望がでると思いますので、その辺につきましては各コミ振の皆様と一緒に活動していきたいと思っています。産業フェアの関係につきましては、今年度も継続して支所挙げて実施していきたいと思っています。防災関係につきましては昨年度4コミ振に自主防災組織を立ち上げてもらいましたので、今年度秋に防災訓練を実施する際には支所も一緒に活動していきたいと思っています。宜しく願います。空き家の適正管理につきましては、現

在松山管内に100戸位ございます。それが必ずしも適正に管理されているとは思いませんが、管理者がきちんとしている中でどうにもならないという事例がありますので、その点につきましても、まちづくり推進課と一緒に地権者・所有者の方にご理解を頂きながら進めていきたいと思っております。通行者に対して危険があるということを所有者の方に説明はしているのですが、なかなか聞き入れて頂けないという事情がありまして事務局で大変苦労している点でございましてご理解頂きたいと思っております。

池田支所長 プレステージインターナショナルの関係で、プレステージインターナショナルは富山から秋田に進出して需要が多いということで酒田において頂いたということで協力したいと申し上げたいと思うのですが、企業誘致が終わり一休みする意味ではなくて、まずはプレステージインターナショナルさんから来て頂きました。企業誘致は継続して行っています。先日も、東京に派遣されている職員と話す機会があって、一生懸命東京の方で頑張っております。それから、人口減少の関係につきましては、71,170人でしたか、推計として数字で出されました。これはあくまでも推計値で、私たちはその推計値に逆らうような気持ちでなんとか頑張っていかなければいけない。酒田市も松山地域も推計値のままいってはいけないというつもりで頑張っていかなければならないと考えております。空き家の関係につきましては、今年度モデル事業も計画されているようです。なんといっても所有権が絡んで参りますので所有者の適切な管理をお願いすることが第一になると思っておりますけれども、再生も含めた空き家対策も検討していきましょうと業界の皆様と話し合いをしながら進めていこうという計画も上がっているようです。以上です。

門協会長 25年度等の事業計画について教育の中で、ここに書いてありませんが、武具の所有は酒田市になっているのですが、利用については祭典委員会として頂いております。その武具が相当傷んでおります。今回25年度予算の中に入っていないんですが、どういうふうに保存していくのか、この地域協議会の中に発言する人がいないから変わっていません。修理工的なものの予算もつけていただけるよう検討して頂きたいと思っております。来年度予算で検討していただきたい。武具3体が、修理が必要なものになっていた。糸が弱くなっている。状況もよく見ることも必要。会長としてではなく一住民としての意見です。

秋葉課長 武具につきましては、市所有のものについては当然市が修繕しなければならないと思っております。今後、伝習施設ができますと収納するスペースも設ける予定でありますので、所管課の方と一緒に修繕等に務めていきたいと思っております。

村山委員 25年度の芸術祭9月8日、月曜日です。これは第57回酒田市芸術祭ですけれども、今年度は県民芸術祭も、第51回県民芸術祭ですけれどもこの開幕公演が開催されます。今年は祭りというテーマで第7章まで大々的に企画され、第5章には松風社の高砂も10分間ほど出演予定です。芸文協の合併後、松山支部も支部長と副支部長が実行委員となってお手伝いをさせて頂いておりますが、市民芸術祭の方が県民芸術祭よりも6年ほど歴史が古いように、県下においても酒田市民芸術祭は歴史の重みとレベルの高さに毎年感激しております。去年の場合は、日本舞踊でしたけれどもその一回の開幕行事に参加するために三年間稽古して発表したということで本当にレベルが高いです。国立劇場で見るような踊りでした。毎年私も感激しております。しかし松山支部の芸術祭は衰退の一途を辿っております。松山支部にあってはせつかく松山歴史公園の整備事業が今年度来年度と大々的に推進される訳ですので箱物だけは立派になっても松山地域の文化芸術意識は低すぎると言われないようななんとか昭和58年に第1回目の松山芸文協が創設された賑やかさ、これを取り戻せるようにリーダーの掘り起しを行っていききたいものです。私も立場上、色々な芸術祭を見に行くんですけど、平田の芸術祭にあって松山の芸術祭にないもの、今年度は絵画部門でした。高校生あるいは大学生、この人たちは検定などに入選するような才能のある子もおります。ところが中高年、昔はリーダーもおりました。リーダーがいるとそれにつられて何人も出典するんですけど、なかなかそのリーダーが育たない。いなくなると本当にしぼんでしまう。昭和の時代、平成の初期の時代は、松山はダントツに芸文協が良かったのです。ところが、芸文協に所属する団体が、1団体千円なのですけどお金出してまでも団体に加入したくない、あるいは個人の場合は芸術祭に出典する場合は1展200円なのですがそのように低いにも関わらず、お金を出してまで参加したくない、コミセンに出せば花くらいもらえるのに、レベルの低さを感じます。伝統的なものが育たない、なんとか掘り起し、リーダーがいれば、せつかく里仁館でも様々な講座を開いているわけですので、箱物がいくら立派になっても、そこに住む地域住民の意識が低すぎると、どうしても衰退を辿るのかなと思いますので、その点PRも兼ねて皆さんから情報があつたら教えて頂きたいと思いますので宜しくお願い致します。

齋藤委員 私は酒田市の松山地区の婦人防火クラブの会長をやっておりますけど、コミュニティに婦人防火クラブがないのが松山と平田町なのです。コミュニティ振興会が結成されていて、コミュニティにクラブがないのが松山と平田地域なのです。コミュニティ振興会が結成されているとき各コミュニティ

に婦人会クラブを作ってくださいとお願いに行っただけなんですけど、今の状態でいいということで打消しのような形になっていて松嶺婦人会としては婦人防火クラブで活動しておりますので、この際コミュニティの会長もいらっしゃいますので、婦人会でも宜しいですし、女性部でも宜しいですし、農協婦人部でも宜しいですので、一つの団体を婦人防火クラブとしてコミュニティに入れて頂きたいので、お願いしたいと思います。それから、もう一点なんですけど、先程支所長さんからもお話ありましたけども、77歳の方の賀詞なんですけど、気持ちだけでもということで、一歩前進して考えて頂きたいと思います。宜しくお願い致します。

小野委員 私自治会では、婦人防火クラブを廃止しました。なぜかと言うと、行政指導により各自治体に通報班や消化班等の自主防災組織ができたからです。新たに組織を作らなくても、現存する自主防災組織と連携することによって対応できると思います。

齋藤委員 それはそれでいいのですけれども。その中から誰かの代表者という名前を婦人防火クラブの方に出して頂きたいのです。何かあった場合はその方にご連絡致しますので。

小野委員 それは自主防災会の南部あるし、ほかもあるのだけれど、それを婦人の視点でこういう所は大事にしてくれということで進めた方がいいのだと思うのです。

門脇会長 地域のコミュニティセンターで、ある程度、防災組織図を形成して管理していると思います。それに対して酒田市の方から、住民ってこういうふうな防災計画はこういう形でとか、実際に私も松嶺地区なんですけど、なかなかその防災の訓練等について今まですっきりしたもの本当コミセンでまだやってない状態なんです。

齋藤委員 松嶺地区はないのだそうです。

門脇会長 その上に婦人会がなんだかんだと言えば尚更大変だと思うので、市の事務局の方でどう捉えているかわかりませんが、私から見ればやはり各コミセンでの防災計画をきちんとした状態であれば、それ以降であれば、婦人部もこういうもので連絡網的なことも必要じゃないのかなとか、色々あってもいいと思うのですけど、今の段階で少数なものですから、人材を当てはめるのは町内会でも本当困っております。勤め人が多いので、先程小野さんからもお話あったように、お父さんは名前を入れてあげただけけれども、いざといったときには仕事に行っているのです、それをカバーする人が誰かいるかなと、どうしても奥様だとか、そういうふうな形になってしまうんですね。ですからその辺りもう少し重視した荒町とか本町はどうかわかりませんが。

齋藤委員 町内会にはそういう防災防火班等あるのはわかっております。去年まで自治会の方には松山町は防災会というものはなかったそうなのですね。自主防災会ですか、それがなかったので今年からはできるというような形のお話も聞きましたけれども、それでその中に一番大切なことは震災があった時に、食事の準備等をしたのがやっぱり女性部なのだそうですね。だからそういう女性部があっちこっちに小さい単位で分散していると、とてもできなかつたので、やっぱりある程度の大人数で固まった方が、物事がスムーズにやれたんだそうですね。それで、なるべくなら婦人会というのを全部の字町から代表者が集まって一応婦人防火クラブというような婦人会及び防火クラブというような形になっておりますので、できましたら各コミュニティでもある程度、各字町に防災班がありますのでまとまって婦人防火クラブと名称だけでもいいので作って頂きたいと思うのです。

門脇会長 齋藤さんが言おうとしていたことは私も今わかってきた。というのは、やはりコミセンで一応中心になって頂いてその中で婦人部があって、例えば救護班だとか炊き出し班だとか色々ありますよね。そういう組織の中で、やはり各字町で名前が載っている方で、松嶺地区で集まって頂いて、統一した考え方、例えばこういう時どうしましょうとか、それについては指導については、酒田市からの支援を頂いていると考え方が統一した考え方で、そういうふうなやり方というのはこれからきちんとしていくところだと思いますので、それも市の方の、やはり防災関係のご指導的なものに少し力を入れて頂いて、そういうところの救護班だとか炊き込みの時はこうしましょうというようなことで、統一した考え方で字町に対して指導できるようなものを続けてなければと。

小野委員 現在、自主防災組織は、自治会やコミュニティ振興会に設置しています。各自治会と振興会が連携して進めていますので、新たな組織作りは必要ないと思います。

村山委員 私も婦人会の会員なので、特定の地域ではなくて、婦人会は特に松嶺婦人会は日赤の奉仕団ボランティア活動もやっているんです。大変すばらしいボランティア活動。それで日赤が講師になって色々ある程度自治会だということではなくて、特定の地域だった場合、さっと炊き出しなんかができるような訓練というか、練習というか、講習しているんです。そのことを婦人会長さんがおっしゃっているのだと思います。だから普通で自治会とかそういう範囲で済めばそれでいいわけですけども、どんな災害が起きてくるかわからないので、そういう場合、集中的にあった場合、婦人会もボランティアとして参加しましょうという意味なのだと思います。県の日赤でそういう指導しているのです。

秋葉課長 昨年度各コミュニティ振興会に自主防災組織を全部設立して頂きました。そのねらいとするところは、各自治会がまとまって、コミュニティ振興会が核となって大災害に備えていきたいと思いますという事で動ける組織であります。名前だけをつけてどうのこうのというよりは、まずは皆さんが一人一役を担うような組織で、コミュニティ振興会が全部核となる組織をお願いしますという体制でやっていたのでありまして、その上に改めて、また別の防火クラブということで、私の方ではお願いはしてきません。今、齋藤委員あるいは、村山委員がおっしゃる通り別の立場でということではなくて、コミュニティ振興会自主防災会の中で炊き出し班あるいは情報班という組枠に入れられると思いますので、それを改めて、また別箇の組織ということではなくて、婦人防火クラブというクラブが何か事業やりますから参加して頂けませんかということであれば、またコミ振の自主防災会の中からどなたか出ていくということであればいいのだろーと思いますので。特にこの場で全部作れとか作らないとかという話ではなくて、いかにしたら自主防災組織が機能的に活動できるかということの考え方を全面に押し頂ければと思いますので、松嶺婦人会さんの方でそういう講習会を一緒にやりましょうといった場合に、コミュニティ振興会さんの方の防災組織が訓練する活動するということの考え方で宜しいのではないかとこのように思います。まずは、コミュニティ振興会さんの方の組織が大前提だろーというふうに考えておりますので、ご理解頂きたいと思ひます。宜しくお願ひします。

門脇会長 今事務局から説明ありましたがけれども、各コミュニティ振興会の会長さん方はどのように捉えているか。南部、山寺、松嶺、内郷地区の会長さんはどのようにやっているのか。現状を踏まえて、もしあればここで紹介して頂ければ助かるのですけれど。

富樫委員 山寺ですけど、色々説明は受けました。でも地域防災は自ら判断することであって、昔からあるから名前だけ出すというのは私には賛同できませんでした。むしろ、地域内はとにかく人口が減ってきますから、それにましてや組織が多くなると役職だけが増えてきて機能しなくなるんです。ですから、秋葉課長おっしゃったように、行政の一つの柱をしながら防災組織をあげようと、その設けに私も賛同して自主防災も作って、コミ振の自主防災は各自治会の自主防災組織の手助けをする。コミュニティとしてはそんなに大きなことはできないですよ。ですから、防災は自助、公助、共助がありますけれども、その共助をどうするかというのが地域内の活動だというふうなところで組み立てています。ですから、それ以外にも防災関係は他の組織からも色々役職きますけれども、一つの筋を通した形で今は進ん

でいきます。ですから、実質色々組織を作っても役職を与えても、いざという時はなかなか機能しないものですよ。ですから、去年からコミュニティは毎年地域全体の防災訓練をやっていて、去年から取り組みを始めました。いざという時に、任務がなくとも人が動けるといふ、行動するといふ、そういう習性です。そういう所から初めていますので、あまりたてまえの組織にはこだわっていません。

門協会長 有難うございました。後藤委員も頭の中に色々あると思いますが、どのように捉えていくか支えていこうと思いますか。

後藤委員 いわゆるコミュニティ単位での自主防災組織の動ける体制についてまだ十分に理解していませんので、婦人防火クラブという形で日赤も含めて色んな活動があるといふのは事実だと思います。いわゆる、その中で育てられたマンパワーがコミュニティの中で活かされていけばいいのかな、その部分のいわゆる地域の実態を受け継いだ形でコミュニティの活動が成り立っていったら、それが地域全体として動けるような形になっていけば、要するに会ができる組織を作るといふこともそれぞれの立場からすると大事なのでしょうけれども、そのところは否定できないものだろうと、それは色んな意味でマンパワーを育ててくれる形で理解して、いわゆるコミュニティとして、一つのくくりとしてまとめあげていくという考え方をしてきたということですので、そういった形で考えていったら如何なものかなといふふうに思っております。

門協会長 はい、有難うございます。他に何かこう今までやっている防災関係でこうあるべきかなと、市に対するよりも各字町の土台づくりが必要ではないのかなととれたのですが、何か他にありますか。市に対して色々希望をこういうところにご指導頂ければというところありましたら、この機会ですから、ありませんか。

遠藤委員 防災じゃありませんけど（資料3）市民生活の③体育施設管理委託（里仁館）とありますけども、これ前は酒田の体育課で松山の場合は総合スポーツクラブで色々やっていたのですが、今度は学習館で全部委託を受けて受付けとかそういうものが、酒田を通さずに里仁館に直接でいいのですか。その辺少し説明して下さい。

秋葉課長 体育施設管理につきましては、里仁館にお願いされている事業でした。その中で雇用されている方がみなスポの職員ということでした。その受付としてみなスポの事務局の方が携わっていたというように理解はしております。形的には変わっておりません。

門協会長 他に何かありませんか。

小野委員 先程、議長がおっしゃった要望についてですが、防災資機材庫の機材は、

設置して頂いております。今後とも最低限の生活必需品や防災機材の充実を図って頂きたいと思っております。

白旗委員 質問になりますけども、先程支所長さんの話にあった地域支援のための研修会ということがありました。この地域協議会の取り組みについてあったと思うのですが、それを今年度の形で進めていくのか、研修会というのは三地区合同の研修会なのですよ。三地区同じような課題を持っている、三つの地域で手を取り合いながら何かしていくのか、そのへんのところを教えていただきたい。もう一つは、小学校の統合に関してはその辺の話し合いは今年度教育委員会ですしていると思うのですが、その辺の見通しで、この二つです。

秋葉課長 委員研修につきましては昨年度から始めまして三地区合同の研修それぞれ各地域の特色ある施設を視察しながら、昨年度は八幡の鳥海やわた観光株式会社の社長さんのお話を聞いて研修を深めたということです。好評であり三地区の研修会を今年度もやりましょうということで、事務局の方では考えを持っておりますので、今後、会長さん等々と相談しながら、時期的にはまた同じように10月以降なるとは思いますが、研修会をしたいと考えております。もし特に講演とかお聞きになりたいという方がいらっしゃればまたそのような情報をお寄せいただきたいと思います。中身についてはまだ白紙でございます。宜しくお願いします。

池田支所長 小学校の統合については教育委員会の管理課の中にあります学区改編推進室というところで担当しておるわけですが、今までの経過から申しますと2月から3月にかけて地域の皆さんとお話と申しますか、これも時間の少なかつたようです。今の現状の説明と言ったらいいのでしょうか意見交換までの時間は足りなかつた、報告書を見ますと、そんな感じで報告書見ておりましたけれども、現状とこれからの推移という面でご説明をしてきたようです。保護者の皆さんであったり、地域の皆さんであったりと、今新年度体制が決まりまして、先日20日、土曜日でしたけれども、ちょっと私は行けなかつたのですが、20日地見興屋にお邪魔して意見交換させて頂きました。今度の土日にかけてだったでしょうか、これは他の地域と含めて保育園の保護者の皆様と話し合いをしましょう、今度は意見交換しましょうという形で今お邪魔している最中です。それぞれ地域と密着した部分があります。それとともに子どもさんの数が減ることともこれをどう調節していくのかということになれば子どもたちの教育環境を整えていかなければいけないということが必要になってくるので、今お邪魔している最中です。今までも様々なご意見を頂いてきたのですけれども、学校統合をしましょうという場合は学区改編審議会という組織が

ございます。そちらの方に答申を頂く手続きが必要になります。そうしますと地域の皆さんはどうですか、保護者の皆様はどういうお気持ちですかということが必要となって参ります。そのためにも、地域にお邪魔致しましてご意見を頂き、学区改編審議会の方にお伝えしていくとそういう段取りでこれから進めさせて頂くと思います。

門 協 会 長 白旗委員宜しいですか。

白 旗 委 員 有難うございます。

門 協 会 長 他に何かありませんか。

日 野 委 員 白旗委員から大変良い地域協議会のお話でましたけれども、私も去年出席させて頂きまして、三地区のそれぞれの課題が重なりあって私たち松山町で解決しなければならないことが重複しているので、ぜひ新しくなられた会員の皆様、中身はこの地域協議会を例えば松山の方に移してやるということですから、地域協議会委員に任命されたわけですよね。業務の一環として住みよい街を作るためにはどうすればいいかというところで、是非、余程のことがない限り出席してほしいというのが私の要望です。松山に欠けているものは何だろうかというのが色々でました。それを是正すればさらに住みやすい町に飛躍できるという感触を出席された方々は得たと思います。ですから、参加するように懇親会費は会場費がかかるので100%参加できるようにすること、新しく選ばれた会長の立場や副会長の立場もあるので、たまたま急に事情が発生したためにとれなかったという方が大勢いるようですけども、何とか今年度は、松山はパーフェクトだというような意気込みのある、お互いに努力していきたいと思います。77歳の喜寿について、例えば支所長の名前で健康で長生きするようにがんばりましょうとパソコンで印刷して頂ければそれで十分だと思います。私たちにとったら何よりもあたたかいものだと感じると思いますので、これはあくまでも要望でありますので。額もありません。以上です。

小 野 委 員 研修会開催に至った流れについては、二年前から松山地区を良くする為に議論していますが、その中で他を見てみましょうという発想から生まれたものです。毎回、平田、八幡地区協議会委員と合同で実施しなければならないという硬直したものではありませんので、必要な研修会であれば柔軟に対応すべきと思います。

富 樫 委 員 わからないのでお聞きしたい。地域が地域ビジョンによって動くのか、注目する点だったのですが、25年度において検討課題項目、具体的推進というのがありますけども、検討課題を具体的に説明してほしいし、二年も経っていますから、その中で何が進んだのかその辺を教えてください。それから、それと関連してこれから具体的に推進策を立てるといこと、ど

のように考えているのか、その辺を教えてください。

秋葉課長 地域ビジョンの進行管理と、検討課題項目の具体的関係につきましては、過疎事業計画の中で具体的に事業年度を特定して過疎計画の中にあつたもの以外の具体的年度が特定できずにまだ実施するまでに時期早尚判断されたものが検討課題項目として残っているものです。その一つがスキー場の拡張整備事業です。これが24年・25年度で人口ゲレンデを拡張に着手し実施となったところです。それから多目的広場の遊歩道整備事業もまだ今後検討、それから、除雪車の整備につきましては26年度に実施予定ということで新規に変更されます。それから松山小学校整備事業、松山中学校の整備事業、多目的運動公園が今後検討となっておりますが、松山小学校、それから松山中学校につきましては統合関係もありまして、これが急速に進むことになると思います。多目的運動公園の照明については、今後検討でございます。それから歴史公園の周辺整備事業が検討事項でありましたが、24年度から26年度の三カ年で実施予定ということになっております。それからコミュニティセンターの整備事業につきましても今後検討、これも小学校中学校統合関係と一体的に進むものというふうに理解はしております。それから親水広場の整備につきましても今後検討として残されております。以上、このような今後検討という項目を地域ビジョンの中できちんと整備計画に挙げるように進めていきたいと思いますというのが地域ビジョンの進行管理と検討課題の具体的推進策というふうに理解しているところでありますので、宜しくお願いします。

門協会長 有難うございます。これで宜しいですか。

秋葉課長 進行管理につきましては、アクションプランとしてこの委員会の中で報告させていただきます。

門協会長 他に何かありますか。

佐藤委員 (資料3) 農業の④森林病虫害等対策事業で、私の住んでいる地区に去年アメリカシロヒトリが家の中の壁に、家の近所落ちなかった、近所の家の壁にべったり張り付いていた。

大淵課長 総合支所に防除機械があります。自治会等に機械を貸し出して、防除してもらうことになっています。

門協会長 他にありませんか。

後藤委員 松山地区の課題解決を考えようと先程支所長の話にもありましたが、人口問題が大きな課題だと指摘がございました。いわゆる松山町時代ですと、人口統計が統計ごとにとれていたのですが、酒田市になってから人口統計をとるのが非常に難しくなっているのが実態だったと思うんですが、現状はその部分について地域における人口統計的な処理というのは

されているのかどうか教えて頂ければ有難いと思います。

秋葉課長 住基関係で全部データが残っております。生産年齢人口や老若人口など集落ごと地区ごとに全部ありますので、もし必要であれば皆さんの方にお渡ししたいと思いますので宜しくお願い致します。

池田支所長 酒田市全体の人口もそうです。それから地域ごとの人口も今はホームページで見られる形になっています。今最新のもので、松山地域のコミセン単位でも出ておりまして世帯数で1,500くらい人口が全体で4,770位、4,800弱だったと思います。今までの経過も含めてそういう資料も載っています。そういうふうに地区ごと全体というようにホームページに記載されておりますので見て頂きたいと思います。

(5) その他

6. その他

7. 閉会

門協会長 皆さんから他に何かありますか。長時間にわたり、ご審議頂きまして有難うございます。滞りなく終わりました。これからどんどん深く審議していったらと思います。今日はどうも長い時間有難うございました。